

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公表番号】特表2003-519260(P2003-519260A)

【公表日】平成15年6月17日(2003.6.17)

【出願番号】特願2001-550299(P2001-550299)

【国際特許分類】

C 08 F 214/26	(2006.01)
C 08 J 5/00	(2006.01)
C 08 F 216/12	(2006.01)
C 08 L 27/18	(2006.01)

【F I】

C 08 F 214/26	
C 08 J 5/00	C E W
C 08 F 214/26	
C 08 F 216:12	
C 08 L 27:18	

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月12日(2007.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

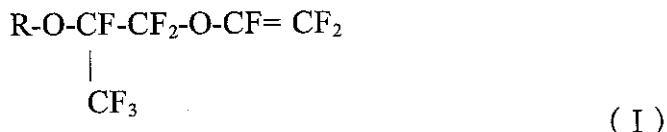
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 84～97.9質量%のテトラフルオロエチレンから誘導される繰り返し単位と、2～10質量%の第1ビニルエーテルモノマーから誘導される繰り返し単位と、0.1～6質量%の第2ビニルエーテルモノマーから誘導される繰り返し単位と、を含む熱可塑性半晶質パーフルオロポリマーであって、前記第1ビニルエーテルは、パーフルオロエチルビニルエーテル、パーフルオロn-プロピルビニルエーテル及びパーフルオロn-ブチルビニルエーテルからなる群より選ばれるパーフルオロ-n-アルキルビニルエーテルであり、前記第2ビニルエーテルは、以下の化学式

【化1】



(式中、Rは、1～4の炭素原子を有する直鎖パーフルオロアルキル基を表す。)を有するパーフルオロビニルエーテルである、熱可塑性半晶質パーフルオロポリマー。